地方選挙を締めくくる市町村長・市町村議員選挙は二十三日投票が行われた。十勝で

新人は笹村氏ら

6人

次点に泣現職・山内

く氏

騎打ちになった幕別、上士幌、足寄、陸別の四町長選と帯広市など十五市町村議員

総合体育館で開票され、杉十三日午後七時半から市 など現職二十九人、元職

本久子氏がトップ当選する

人が次点に沈んだ

人が次点に沈んだ。 一イヌ民族出身市議となった 新人六人が当選、現職 た。特に、帯広市政初のア

昭氏の計六人が初陣を飾っ

大石清一氏、共産の稲葉

でもある鳥越進氏、

副議長に杉本氏ら

有

力

地のイメージを払しょく 動を展開する考え。 予算に反映されるよう、

高橋市長は「古い工業団

それの市町村で が終わり、信任 会・首長の選挙

は現職対新人の 第十三回統

現職·富

氏

94票差

する激戦の末、有權者は町 四選挙戦になり、町を二分 件と寄町長選は十二年ぶり

連携をどう具体的に進める

性化対策室の設置、町と農

の活性化策とどう整合させ

一万人を割り込んだ町全体 | げて戦った。 林氏は足腰の

重点公約に掲げた農業活

農業危機背景に刷新選択

かが緊急に問われることに

毎

帯広市議選

町長に託したといえる。

一や先送りを掲げた。

人口が た町づくり政策を公約に掲

迎える開基百年を節目にし 人事も注目される。

た。町民は、地元の農林業

幕別は、ともに八年度に | が選挙の大きな焦点だっ

幕別

林

上士幌

四

尾

陸別

金沢

などを掲げた西尾氏を選ん

行政経験ゼロからスター内をどうまとめていくかも

次産業に結びつく企業誘致 開発、商店街の近代化、

尾氏同様、民間出身町長と られる。また、上士幌の西 |出した。具体的に町の活性

注目される。

化策につなげることが求め

票も掘り起こした。町民は、 感を前面に出して市街地のって、ガット合意後の危機 氏は農業青年らが中心にな 政の刷新を選択した。香川

|既に計画がスタートしてい する大型事業の規模見直し る動物化石博物館を中心と

香川氏は選挙戦の中で、

|や庁内活性化に向けた役場

興策が大きな課題だ。

上士幌は、過疎への挑戦

が、有権者はゴーの答えを |る「銀河の森」構想の是非

支持者の祝福にこたえ 目を入れる香川博彦氏

(数字は降水)

。天気

18~ 24時

0

0~ 6時 6~ 12時 十二年務めたが、議会対策 ことを強調、町内産業の振 プされる。 内両地区商店街再整備に公 内両地区商店街再整備に公

した総事業費匹十億円に上

陸別は、金沢氏が打ち出

社会党町議として八期三 | 共事業を先行させて進める

内両地区商店街再整備に公 | ることになる。 強い農業をつくる活性化基||これからの四年間は、リー

|ダーとしての真価を問われ

トした一期目だったが

町自体の生き残りもかけた 農業政策の実施を初の農民

3,996 香川 博彦 ∞ 無新 3,052 富田 秋雄 ◇幕別町 (投票率85.48%)

9,544 林 照男 4,562 佐藤 正昭 53 無新 ◇上士幌町 (投票率93.38%)

当 2,904 西尾 1,518 菊地 良治 59 無新 ◇陸別町(投票率95.89%)

1,769 金沢 紘一 51 無現 975 山田 一雄 52 無新

香川新町長 農業活性化

 \sim

対策

し、実施計画に反映させたい。国保病院改築は町民が 託 現在地で新築したい。 ズーンの農業政策は、活 ら 容を詰めて可能性を見いだし、実施計画に反映させたい。国保病院改築は町民が一時

酷し合い、共鳴してくれた 出馬を前にひざを詰めて

か。

らがどう考え、何を求めて 若い人の方が考え方が優れ

向け、内容を詰める。 螺湾 性化対策室の八年度設置に

いるか話し合い、

さんに、当選の喜び、今後 成 超げ初陣を飾った香川博彦 博物館見直し早急に結論

インタビューした。 行っていく重点政策などを | くの人が出迎えてくれ、 -四選を目指した現

職を破り、

初陣を飾っ

感激でいっぱい。遊説で多厳しい選挙だっただけに っちり手を握って激励して た気持ちは。 したい。

んでばかりはいられない。喜 掲げた課題をしっかり実現 畑小・先送りは、早急に内公約の動物化石博物館の - 当面の課題は。

元の農業者、青年と話し合 ねない。 地区の中山間対策事業は批 -する。 年次は遅れても構 選の原動力になった 農業の若い力が当

を反映させたい。

会党の町長はどうか」
一町民党を名乗った

あ す 南または南 東の風が海上海岸でやや 強く、晴れ夕方から曇り で海上海岸で夜には霧。 夕方まで時々雨で海上海の風がともに強く、曇り 西の風、晴れ。 西の風、晴れ。 あさって 南東後南西

ある▼見事当選を果たさ ずらに議会構成に時間を どらず、心機一転新時代 とらず、心機一転新時代

で見据えた前向きの十勝 いただきたい。 (S)





よう見守る重要な機関で

をしないよう、正しいル







今



10 はればゴーサインをだし、良 れば、議会はアクセルと **しないよう、居眠り運転地方行政という車が暴走** 付議することにはなってから何まですべて議会に フレーキの役割をもち、 向を決める機関で首長の いない▼議会は行政の方 採っている。だから、 悪ければストップを

市議選開票網

六十四巖席が決まった。 (2、3、4、14、15、16、17面に関連記事) 被選(定数三十六)は、現職二十九人、元職一人、新人六人が当選した。町村蔵選は十四町村で二百町歓寧氏(『』)、陸別は金沢紘一氏(『」)がそれぞれ大巻(三)選を果たした。四十一人が立候補した帯広市 選が実施され即日開票の結果、足寄町長選は前町議会副議長の新人・香川博彦氏(%o)が四選を目指し た冨田秋雄氏(そうに九百栗余りの差をつけ、初当選した。 幕別は林照男氏(そうが四選、 上士幌は西尾 杉岡黒上高松柴山新野大水栗今村佐杉安山斉水鳥国鈴石谷林栗河内富長笹野稲佐山吉中、本田田野佐田田本川原石上田野中々野田田藤野越井太井内 山瀬田士谷村上葉竹内永嶋、久 敏芳正政出正一清 律春庸勇義正栄和正 孝啓利義雅勝 雄昭二登典博 利謙子肇弘郎宏志邦夫男登一勲子正晁一規雄一郎光進勝昌裕夫一光郎豊三夫朗子昭士巖夫治 51無現(5) 65614月現現(3) 52年無無規(3) 59年無無規現(2) 50公社表別現(2) 50公社表別現(4) 51公無無社(4) 52年(4) 52年(5) 52年(5 (初) (3) (3) (3) (4)

①当3,239
②当3,019
②当2,702
31,019
③当2,702
31,019
③当2,702
⑤当2,603
⑥当2,504
①当2,476
⑥当2,476
⑥当2,476
⑥当2,382
⑥当2,382
⑥当2,275
⑥当2,275
⑥当2,275
⑥当2,275
⑥当2,107
⑥当2,275
⑥当2,176
⑥当2,176
⑥当2,176
⑥当1,1860
⑥当2,040
⑥当1,860
⑥当1,798
⑥当1,798
⑥当1,798
⑥当1,798 典博 利謙敏武昭士巖夫治雄一 65無現 55自現 56無新 41無新 52無新 嶋崎荒木 64無新

が組んだ場合、 (五期)、副議長にはトップ利夫氏 (四期)、斉藤和郎氏 と社会市民連合(社会党系) 激成クラブ(保守・自民系)

注目の正副議長人事は、

|当選を果たした杉本久子氏|ペテラン組の柴田 政邦氏|Cの視察団(坂本和昭団長)|が訪問し、 が てくるかどうか注目され (六期) を絡め 一緒に浮上しそうだ。公明が 守系の新人・笹村二朗氏、 幹夫市長を表敬訪問した。 会派の勢力争いでは、保 前十時、帯広市役所に高橋 鳥越進氏、佐々木勇一氏と

同市は今年二月に帯広り

・ジママンさんとブラント 市の国際交流担当、ケント

めている」などと説明した。 り組みなど、帯広と同じよ 生活の質を守ろうとする取 ブラントさんは「ボウル - 市は、乱開発を防ぎ、

来帯が実現した。

たことが縁となり、二人の ての際の受け入れ先となっ 議員も見受けられるとい の重要事項の決定に参与 営むけれども、地方行政の制定という立法作用を う▼地方議会は、市町村 会と違うところは、 の基本方針を決定する議 な顔をして本会議に臨む たり執行機関の監視を 機関とされている。国 、螽

深夜あるいは明け方まで ももつれ込んで、眠そう

開催の前日の

逆に危機感に燃え、見事トりで不利とみられていたが一 ップ 当選しており、庶民的五十四年、初当選の時もト ップ当選を果たした。昭和 また、

現職で唯一落選し

中川昭一代議士派。同氏を

タクタ

木勇一氏、商工会議所議員 糸列の笹村二朗氏、北数組 本多学氏後継の高佐芳宏 新人では鈴木宗男代議士 末下照義氏後継の佐々 草刈り場となったのが響い 注 目 市議会 人事 地域で有力支持者が離れ、 議長に谷内、斉藤、水上氏

中川派は小選挙区比例代表

選挙巧者ぶりをみせた。 をテコ入れ、道議選に続き、

た公明(四人)、共産(三人)

とも巧みな票割りで全員が

社会は道議選の三津丈夫一当選、勢力を維持した。

は、掘道政の初めての政策

協議会室で当選証書が授与五日午前十時から議員全員 **いれる。 会派構成の届け出** 新議員三十八人は、 = 生となる。

め切りで、二日午後 田肇氏 (五期) 杉本氏が決まると、 (五期) が有力視されそう。 (九期)、佐竹博士氏(八期)、 |きが活発化しそうだ。 帯広市 水野正光氏 (四期) の動向

ら各派代表者会議が開か 一方、清風クラブ(無所の可能性もある。 議会史上初の女性副議長跳 場合によっては岡 の議長続投

る。この動きによっては正が大きなカギを握ってい

すると、水上販氏(四期) が議長、あるいは副議長候 ともあり、 一副議長人事が左右される 大学で意見交換 水面下の駆け引一

米コロラド州ボウルダー 2人が市長訪問 米国ボ市職員

日間の日程で調整が進んで

臨時会は十三日から三 議会日程を決める。現

高橋市長と意見交換した ジママンさん、ブラント さん(左から)

帯広市の高橋幹夫市長は「利用していく」と語った。

学のかかわり方について実 施調査を行ってきたまち。

タウンとしてアピール。 々に名称を変更して運動に 新しい複合型のニュー

食料品上村酒店 和洋酒上村酒店 実々の駆け引きが舞台裏

の名称変更へ」 「新産業ゾーン

高橋市長記者会見

ところによっては、虚々 の選出が大きなドラマ、 るが、何といっても議長 成もこの新議会で行われ といったら失礼かもしれ 近く行われる。議会の構 虚

か一変更する考えを示した。 二十四日の定例記者会見 同事業の実現に向けて 編集余録 地方団体の議 赦 会



かすてら 伝統の技に、しっとりきめ細かく。

月 柳

20年ぶり女性村議 別村の大平トシヱさん (17面)



なんでも広場 文化 10 i 置

111昭一代議士派。同氏を「選挙に向け課題を残した。」 九人全員を当選させ、現、山内氏は代議士系列では「並立制が導入される次期総」氏を選ショックをバネに、 一方、鈴木宗男代議士派 護席を守った。 娯楽 現状

また、新人一人を擁立し 春です。いい汗かきましょう 競争なイブックコース 日会 日菜集中

👽 ビックスポーツ ぜんりん



日程で直接お持ち込み下さい。 4/28・29: 4/30®





た。今回も当時の仲間が励

の声が強かったが。

ない。首長とは対等併存

行うなどの行政機能をも ているが最高機関では

地域ごくり

⊕⊕ Face to Face

社会党であろうと自民党

ンで最大1.50%優遇

持ちがぶつかってきた。 であろうと、今回の選挙で ましてくれた そして周囲も認めてくれ きから、自分を信じてきた。二十八歳で町議に出たと

教育口

などが議決事項とされて

いて「制限列挙主義」を (地方自治法九六条一項) 定額以上の契約の締結 の徴収に関すること、 分担金・使用料・加入金 の認定、徴税の賦課徴収、 政廃、予算の議決、決算 会の権限は、条例の制定 はもっていない▼地方議 の関係にあって執行機関

町民の足寄町を思う気





の差をつけ、初記運しよ。 帯別は末帳男氏(『こが四選・上・胴は西尾撃拳氏』)、陸別は金沢紘 氏足寄は前町鎌倉副蔵長の第人・番川博拳氏(『こが四選を目指した規範・富田秋雄氏(『むに九首架余りの差をつけ、初記運しよ。 帯別は末帳別表(『こが四選・上・胴に 足奈、陸別の四町足選挙は、十二百夜間日開架され、現職対策人の一騎打ちになった権別、上・順、足奈、陸別の四町足選挙は、十二百夜間日開架され、 (宝)がそれぞれ大差で二選を果たした。 町村議選も十四町村で即日開寒され、 二百六十四議席が決ま

幕別は林氏大差で4選

西尾 医別金沢 は2選

(日刊)

二選を飾って万歳をする西尾さん(右)

無無無無無無無無無無無無無無無無無無無

惠子42 稔61 賢66 千男56 守郎70 靖78

建設業界など融和が課題

農民町長、の期待 香 Ш

氏

無以57 邦夫60 邦夫64 龍男61 勝裕56 定男76

堅く浸透した西尾氏が、千街地や農村の若手などに手 二百票余りの差をつけた。

◇足寄町 (投票率92.70%) 3,996 香川

◇薬別町 (投票率85.48%)

◇上十幌町(投票率93.38%)

菊地 ◇陸別町 (投票率95.89%)

当 1,769 金沢

血 の

出

る努力する」

香初 川さ選 んの

の反感も買った。 (社現)支持の保守系町民 が、道畿選で喜多龍一氏(無

こも敗因の一つだ

発した。支援に走り回った一要対事務所は一気に喜びが爆った。大援に走り回った一要が大場の

股労の青年たちの目は涙で

975 山田

3,052 富田

博彦

秋雄

照男 62 無現

正昭 53 無新

敏幸 42 無現 良治 59 無新

紘 - 51 無現

て町民党を強調して、市街 大の。また、社会党色を薄めな 発関係票を手堅くまとめ 営

系候補のため、組織に浸透 組の支持を受けたが、保守 選ざれた。出一雄氏は労 に満遍なく支持を広げ、前 して婦人や高齢者など各層

道とのパイプを強調。十二年の実績に加え、 十二年の実績に加え、国、これに対し、富田陣営は

広吉黒菊福石森武金竹川佐渡能安山川沢地原本 田沢浦見藤邊登倍

起

せ、猛烈な運動量で票を掘 麗幸 せ、猛烈な運動量で票を掘 麗幸 150

·雄 52 無新

回票を大きく上積みして再

会 金沢氏は現職の強みを生か 推っ、複雑な戦いになったが、推進な戦いになったが、推進を表現した。

連合・平和運動センタ

当当当当当

ブランクも響いた。

揮した。菊地良治氏は労組 受けなかったが、

築いた新たな人脈が力を発 **入きな組織、団体の推薦を**

解説

森田 太八64 高語 功一57 高主 茂68 大平トシヱ73 高嶋 信一65

、任期中に

毎

н

閗

新





私の力不足」驚躍の

本部長の敗北宣言に続いてを出たるが「多くの支援を 包えることができなかった。 をしたが、自然をにこた おわびします」と深々と頭が を下げた。

「申し訳ない」と敗戦の 弁を語る富田さん

町村議員選挙の

開票結果

要な、現を持った。午後、時四十一事長と鏡観きし、「万家と私」
「一大小事なり、関、たい」との歌書と等。大杯等な聴い、大塚等な時間がなかしい。
を別の手がある。できた。別、大次等な時間がなかしい。
ない、「一大が事なり、関、たい」と歌語・音等音音を引きながなかしい。
大塚音な情報がなかしい。
ない、大塚音な時間がなかしい。
ない、大塚音な時間がなかしい。
ない、大塚音な時間がなかしい。
ない、大塚音な時間がなかしい。
ない、大塚音な時間がなかい。

9 会長のあいさつ、だるまの 年に包まれた。 阪口茂後援 に乗せ、選対内は祝福の拍 数るかが、行政の継続性の 業活性化対策などをどう進 当当当当当当当当当 一則47 勝月52 一月455 一月和55 与二65 与二65 三郎率70 使二郎年46 第一郎 新規現新規規規規規則 西平児阿常島野鈴広藤尾野玉部通崎津木瀬森

4731無無無無無無無無無無無公無無無無無無無其無無其共無無其共無無其共無無無%))現現現現現新現現現新現現眾新現現新現現,對是是新聞,是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是

投票率=9 (16 当 371 井原 力也58

| 杉石天生坂浜山大坂戸那大佐加山本宮川| 山川野山田名中内本水須留々藤本間内上 345 337 326 319 315 307 263 253 246 237 232 202 202 200 170 54 (20 正博50 弘志56 弘志56 為男60 為完62 欽造58 当当当当当当

上士幌

無無無無無無無無無共無無無共無無無共現新,現新現現現就新東現現新新更現現新新現現 (16330年) 16530年 165304年 1653044 16

.59%
-21) 新現新元現現

601 夏山上馬菊植佐畑藤市高中上武亀畑田原岸嶋場池田藤川田田橋野村田田田町町村田田 597無無無無無無無無無無無無無無其現現到

5.09%)現現現新現現現新理

池

19 (19 元) (19 足 6435555555558500808080808

652無公無無社無無無無無無無無無無無無無無

(1) 遠西熊小長中宝津古島杉岡大大山間菅 ・ 藤本野野谷村田久村 山戸谷崎保所野